

(現広域異動者)

| 氏名 | 紺田 智 | 現任校 | 厚沢部町立鶉小学校（檜山） | 前任校 | 函館市立高盛小学校（渡島） |
|----|------|-----|---------------|-----|---------------|
|----|------|-----|---------------|-----|---------------|

### ○地域・学校の様子

厚沢部町は、人口3830人、美味しい水と大自然に囲まれた町です。その中でも、666人が住む鶉地区に現任校である鶉小があります。児童数21名の複式校です。特別支援学級が4学級あるため、全部で7学級。職員数は13名と子供たちも先生方も活気があり、にぎやかな学校です。学校の周りは、畑に囲まれ、学校園もとても立派です。生活科で作ったジャガイモがアメフトのボール並みの大きさに育ち、びっくりしました。収穫祭として、子どもたちと一緒に公務補さんが作ってくれた芋餅を食べました。学校の周りの自然は教育素材でいっぱいです。川の生き物を観察したり、夏にはいかだ下り、PTA活動では、旧清和小での石窯ピザづくりを体験したりしました。町内の小学校の交流も多く、自分たちの考えをしっかりと発信できる鶉小の子供たちにいつも感心させられています。



### ○現任校での勤務状況

1年生1名、2年生3名の計4名の1・2年生クラスの担任です。複式経験は少ないので、周りの先生方のアドバイスを聞きながら指導をしています。校務分掌は、保体指導部と研究部の兼任です。保体指導部では、運動会などの体育行事を主に担当しています。保護者・地域・学校が一体となり作り上げる運動会は、子供たちの成長に大きく寄与するものだ実感しました。また、今年度は、南部三町（江差・厚沢部・上ノ国町）の研究団体として道徳科を公開授業することになりました。複式での道徳科は、学年別指導が望ましいとのことで、学年別に教材を分けての授業です。今まで経験した単式での授業との違いを改めて見直す機会となりました。

### ○生活の様子

近くにスーパーはありませんが、コンビニや郵便局があります。江差町や函館市からも近いので、買い物には困りません。近くの農園では、野菜、果物の販売をしていますので、新鮮な食品をいつでも食べることができます。スーパーで買うより安いので、今年はスイカをたくさん食べてしまいました。枝豆も実がびっくりするほどパンパンに膨らんでいて、今まで食べたことがないほどおいしくてびっくりしてしまいました。

### ○その他

初めての檜山管内の学校勤務。これまでの教職経験を少しでも周りに還元したり、学んだりしたいと思います。他管内での勤務は、よい刺激となり、今後の教職員としてのライフサイクルによい影響を与えることと思います。限られた期間ですが、健康に気をつけながら頑張っていきたいと思います。

(現広域異動者)

| 氏名 | 佐々木 三嗣 | 現任校 | 旭川市立東光小学校（上川） | 前任校 | 雄武町立豊丘小学校（オホーツク） |
|----|--------|-----|---------------|-----|------------------|
|----|--------|-----|---------------|-----|------------------|

### ○地域・学校の様子

旭川市は、北海道第2位の人口の町で、ライフラインが充実し、大型店も多くあります。また、自然にも恵まれ、冬にはスキーを楽しむことができます。

私が勤務している地域は住宅街で、学校は児童数650人を超え、市内で一番多い学校です。学校の回りには公園が多く、放課後には子どもたちが外遊びをする姿を多く見かけます。前任校の児童数が16人でしたので、数のギャップに驚きながら、日々過ごしています。



### ○現任校での勤務状況

現在は、2年生の担任です。学級は24人ですが、4学級あるので、それぞれの学級の先生と意思疎通を図りながら、学級経営を進めています。生徒指導などで困ったことがあるときは、学年で相談しながら進めることができるので、ありがたいです。多くの先生に学級の様子を見ていただいて、適宜アドバイスをいただき、それを生かして授業や生徒指導を行っています。

最近では、生活科の学習でモルモットの飼育活動を行いました。モルモットとふれあうことで命の大切さの学習ができました。近くに旭山動物園がある旭川ならではの学習でした。



### ○生活の様子

市内にはスーパー、飲食店、病院、公共交通機関など、様々な施設が充実しており、生活する上では不自由なく暮らしています。休日は買い物に出かけたり、趣味のビリヤードをしたりしてリフレッシュしています。冬はスキーが楽しみです。教員住宅はないため、市内のアパートを借りて生活しています。

### ○その他

広域異動では、旭川市内の研究団体のレベルの高さを感じました。私は算数に所属していますが、若い先生が行った研究授業でも、質の高い問題解決的な学習を行っていました。そのような中で研鑽を積むことができるのは、いい経験になると思います。3年間という限られた時間の中で、様々なことを吸収できるように過ごしていきたいと思います。



(現広域異動者)

|    |       |     |               |     |                |
|----|-------|-----|---------------|-----|----------------|
| 氏名 | 木戸口 玲 | 現任校 | 留萌市立港南中学校（留萌） | 前任校 | 名寄市立智恵文中学校（上川） |
|----|-------|-----|---------------|-----|----------------|

### ○地域・学校の様子

留萌市は日本の夕陽百選に認定された海沿いの街です。また、日本一の生産量を誇る「かずの子」をはじめとした水産加工業が盛んな地域でもあります。港南中学校は留萌市南西部の高台にあり、市内の2校あるうちの1校で、生徒数は146名です。素直で明るい生徒が多く、落ちついた状況の中で学習活動が行われています。また、行事では生徒、先生、保護者、地域が一体になって取り組み、どの行事も生徒たちが自主的に動き、行事を通して相手を思うことや最後まで頑張り通す姿が見られる素晴らしい時間になっています。

学校祭で生徒が制作した  
カボチャの馬車です。

### ○現任校での勤務状況

今年度は2年生の副担任を担当しています。朝の会や帰りの会、給食にも教室に入り、改めて学級経営について学ばせてもらう良い機会となっています。授業は1、2年生の社会科を担当し、学校研究テーマである、話し合い活動の充実に向けて日々の実践に取り組んでいるところです。普段の授業から先生方が短時間でも参観し、感想などを交流することもあり、とても勉強になっています。

また、道徳教育推進教師も担当し、様々な研修会にも出させていただき、先日は留萌市教育研究協議会で道徳の研究授業を行い、2年生49人の学年道徳を行いました。今後は先生方とともによりよい授業を目指し取り組み、たくさんの実践に挑戦できればと考えています。職員室でも管理職や先生方が校内での出来事を気軽に話す雰囲気があり、情報を共有し組織で指導できる体制が整っており、職員全体で子どもたちを指導しようという意識が高い学校と感じました。

部活動では野球部を担当し、現在は部員が4名と少ない人数で取り組み、他校と合同チームを組んで活動し大会にも出場しました。来年の中体連では良い成績を残せるように地道に練習に励んでいます。



### ○生活の様子

スーパーやホームセンターなどあり、生活する上で支障はありません。また、札幌まで2時間。旭川まで1時間半の距離ですので、大きな買い物をする場合は利用をしています。また、現在は海岸近くの教員住宅に住んでおり、海岸線の眺めはとても素晴らしいです。

### ○その他

港南中学校では先生方から生徒へ積極的に声をかけ、先生方全員で生徒を育てる雰囲気が今まで経験してきた学校よりも強く、生徒指導の基本である生徒との信頼関係をつくる部分を大切にしている学校であると感じました。

前任校が小規模校であったために、現在の生徒数に戸惑いもありますが、周囲の先生にも助けをもらいながら日々の業務に励んでいます。今後は多少なりとも今までの経験を他の先生方に伝えられる場面があればと思います。

(現広域異動者)

|    |        |     |               |     |                  |
|----|--------|-----|---------------|-----|------------------|
| 氏名 | 檜森 奈美子 | 現任校 | 枝幸町立音標小学校（宗谷） | 前任校 | 興部町立興部小学校（オホーツク） |
|----|--------|-----|---------------|-----|------------------|

### ○地域・学校の様子

枝幸町は、枝幸町と歌登町が合併してできた町です。オホーツク海に面した枝幸地区と四方を山に囲まれた歌登地区からなり、山海の幸が豊かな町です。学校のある音標地区は、農業や漁業などの産業が盛んで、保護者もそれらの産業に従事している人が多くなっています。



学校は全校児童20名、教職員が11名の小規模校です。児童は素直で元気よく、休み時間に全員で仲良く遊ぶ様子が毎日のように見られています。

### ○現任校での勤務状況

担任学年 5・6年生（5年生4名・6年生2名）

校務分掌 指導部

広域人事1年目の昨年度に続き、5・6年生を担当しています。現在4校目になりますが、1校目以来の複式学級担任となり、2学年同時に教える大変さを感じている毎日です。全校給食や掃除、行事などで他学年と接する機会が非常に多く、全児童を近くで見ることができます。その為、児童に関する相談事があった時には職員同士で交流し合うことができ、とても助かっています。また、同じ中学校に進学する4校での「集合学習」があります。年に4回ほど一緒に授業を行うだけでなく、合同で社会科見学や修学旅行に行つて交流を図っています。さらに、町内全小学校10校合同の「マラソン大会」、小中全13校での「音楽の集い（歌や器楽発表会）」などで、町全体でも交流を図っています。

### ○生活の様子

学校周辺には、郵便局はありますが、スーパーや飲食店、病院はありません。買い物や通院などは、30kmほど離れた市街地や近隣市町村に行っている人が多いようです。

### ○その他

宗谷管内、枝幸町の教育方法、本校の教職員の児童をより良くしていこうとする姿からたくさん学ぶことができます。それだけでなく、自分が今までに学んできたことを伝え、広域人事として派遣された人事交流の意義を達成していきたいと感じています。

(現広域異動者)

|    |       |     |               |     |               |
|----|-------|-----|---------------|-----|---------------|
| 氏名 | 黒山 祐子 | 現任校 | 根室市立花咲小学校（根室） | 前任校 | 音更町立音更小学校（十勝） |
|----|-------|-----|---------------|-----|---------------|

### ○地域・学校の様子

根室市立花咲小学校は、明治9年に黒田清隆開拓使長官が校名を「花咲学校」として開校した、長い歴史をもつ小学校です。現在は学級数6（特支3）全校児童168名です。漁業の街らしく、漁業やそれに関連する企業、水産加工業に従事している保護者が比較的多いです。

本校は本年度、「1 正しい行動の奨励」「2 学力向上」「3 体力向上・健康安全」「学校力の向上」を重点とした様々な取組を行っています。

### ○現任校での勤務状況

私は現在、特別支援学級担任をしています。家庭と連携して個々のニーズに応じた教材研究や教具開発に日々励んでいます。

校内分掌は研修部です。私は、校内研修や小中連携事業等を担当しています。校内研修については、先生方の意見を集め、教務主任や研修部長にアドバイスを頂きながら研修内容の充実を目指しています。また、自分の得意分野である音楽や特別支援教育の指導技術等を実技研修を通して、先生方に紹介したりしました。

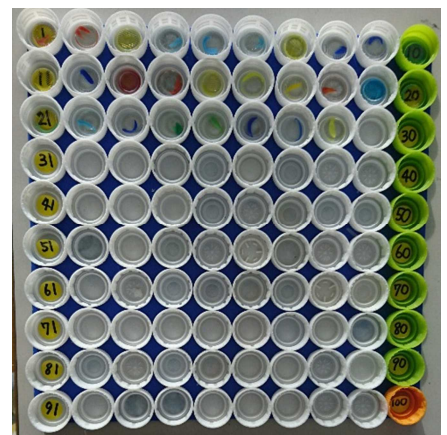
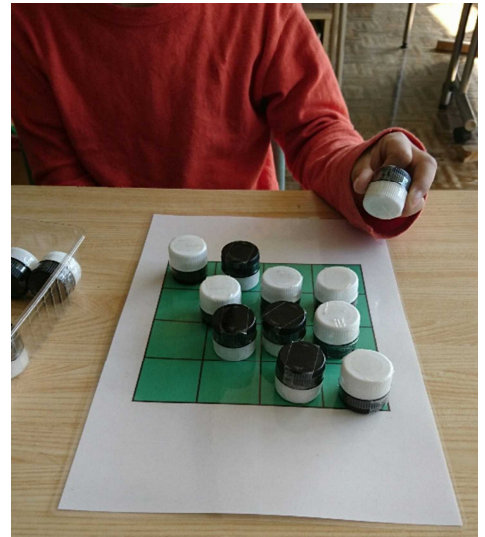
### ○生活の様子

根室市は、魚が安くて新鮮で美味しいです。大型スーパーもあり、必要なものはすぐに購入することができます。

冬は、十勝と比べて強風の日が多いものの、雪が少なく、気温が高いので私にとっては過ごしやすいです。

### ○その他

花咲小学校に赴任して大きな成果は、校内研修に積極的に取り組むことができたことです。学習指導要領を読み解き、シラバスを作成し、「何を学ぶか」「子どもたちにどのような力をつけさせるか」明確にゴールを掲げて学習計画を立てる方法を教務主任や研修部長が中心となり、組織的に取り組んできました。これからも広い視野をもち、「チーム花咲」として研鑽を深め、十勝に戻ったときには、根室と十勝のそれぞれの良いところを発信して全ての子どもたちの教育に尽力していきたい所存です。



| 氏名 | 佐藤 智也 | 現任校 | 奥尻町立奥尻中学校（檜山） | 前任校 | 岩見沢市立豊中学校（空知） |
|----|-------|-----|---------------|-----|---------------|
|----|-------|-----|---------------|-----|---------------|

## ○地域・学校の様子

奥尻町は檜山振興局管内の離島の町である。北海道本土との往来はフェリーで、奥尻港から江差港(奥尻港からせたな港は運休)で約2時間10分(冬場の便は2時間20分) 飛行機では奥尻空港から函館空港で約40分と北海道本土への移動となる。因みに地名はアイヌ語の「イクシュン・シリ(その向こうの島)」の転訛に由来している。

現在、人口2589人（1525世帯）であるが、全盛期には8000人と中学校は5校、小学校は分校を含めて7校存在した町である。中体連では町内予選を行い檜山大会へ参加していた。人口の減少に伴い現在、小学校は青苗小学校、奥尻小学校の2校で、本校は平成29年に青苗中学校と奥尻中学校が統合し、奥尻高等学校との連携型中高一貫教育校として、その年の4月1日に開校し3年目を迎え、全校の生徒数は37名である。平成28年4月に北海道立から奥尻町立へと移管した奥尻高等学校の敷地に校舎が新設され、



奥尻のシンボルなべつる岩



ピア・サポートの様子

中学校校舎と高校校舎は渡り廊下で繋がれており、体育館や音楽室・理科室・家庭科室などの特別教室は高校と共用している。そのため高校生徒との交流もある。連携型一貫教育の1つとして、メンタリングやピアサポートプログラムなどを行い、中学校と高校との交流授業を行っている。中高連携一貫教育により奥尻島の将来を担う優秀な人材の育成に取り組んでいる。



クリーンアップ作戦

また、隣接する奥尻高等学校は平成28年度の町立移管に伴い、全国から定員の50%が入学可能になり、道内はもとより、遠方では福岡県からの入学者もあり、全国各地から「まなび島おくしりでの学び」と称して多数の島外生が寮や民宿で生活を行い、日々自分自身の成長のために充実した学校生活を送っている。

現在の奥尻中学校の部活動は野球部、女子バレーボール部、卓球部、吹奏楽部である。野球部、女子バレーボール部は檜山管内の中学校と合同チームを組んでいるため、休日だけを利用してフェリーで移動し、活動をしている。移動費は生徒も引率教員も自費で参加し、中体連に関わる大会は町からの補助がでる。

統合して歴史が浅い奥尻中学校は統合した時のそれぞれの学校の特色を生かし「おくしり運動（お：おもいやる心・く：くじけぬ魂・し：信頼される姿・り：りりしい姿）」を掲げ地域に愛される学校を目指しています。

4月にそれを実現する活動として行われる「クリーンアップ作戦」に参加し地域の方々と協力して「賽の河原」の清掃活動を行っています。また、他にも奥尻三大祭りの「賽の河原祭」では灯籠流しを行い、「室津祭」では1年生の祈漁太鼓と全校によるダンスを披露し、祭りのイベントに部活動毎にチームを組んで参加し、「なべつる祭」でも部活動毎にイベントに参加し、獲得した商品券で部活動の用具を購入したり、遠征費の補助に充てたりと地域を盛り上げる役割も担っている。



室津祭りの祈漁太鼓

また、体育祭では地域参加型のプログラムで園児から大人まで参加し地域のお祭りとしての役割を果たしている。文化祭では地域の皆さんへアピールするために神輿を担いでパレードを行い、地域の方々に来場してもらえるようにPRしている。そして、当日は来ていただいたお客さまへ楽しんでもらう企画や劇、合唱などの発表を行っている。



文化祭前日パレードの様子

また、体育祭では地域参加型のプログラムで園児から大人まで参加し地域のお祭りとしての役割を果たしている。文化祭では地域の皆さんへアピールするために神輿を担いでパレードを行い、地域の方々に来場してもらえるようにPRしている。そして、当日は来ていただいたお客さまへ楽しんでもらう企画や劇、合唱などの発表を行っている。

地域の産業は奥尻を代表するウニ等の漁業などの水産業、農業、漁協、信金、郵便局、佐川・ヤマト・日通などの企業、電力は地熱発電、警察、消防、自衛隊などの経済で支えられている。保護者は役場、消防、自衛隊、地域の建設業の保護者が多い。

## ○現任校での勤務状況

着任から担任をさせて頂き、現在2年生9名を担当しています。教科は保健体育の担当で、分掌は指導部長と中体連の担当をさせて頂き、保護者や地域の方に奥尻の子ども達への願いを聞きながら、大勢の中で活動する機会が少ない環境の生徒の思いを受け止め、日々教師としてどのように伝え、何を教えていくことが生徒達にとって将来の役に立つのかを考えて実践しているところです。

私は朝、スクールバスで登校してくる生徒をバスの前で出迎え、朝の挨拶から始まり、校内では全教職員が生徒を出迎え、気持ちの良い生徒の挨拶から1日が始まります。また、担任としては、毎日提出される「学習・生活ノート」に目を通し、生徒の様子を読みコメントを書くことから1日が始まります。



教職員による朝の生徒出迎え

(現広域異動者(離島交流人事))



檜山体育研究会の授業の様子

つ活用し、良い刺激を受けているところです。

無線ランが設置されていることから、高校校舎も含めてどこでも繋がっているの  
で、どこでもipadが活用できる学習環境になっています。



職場体験学習の様子

### ○生活の様子

給食がないので、お昼のお弁当を含め、毎日3食の食事をつくる生活ですが、お肉屋さんやスーパー、セイコーマートやホームックニコットがあるため、不自由なく生活をしています。各お店で冷凍されたお魚は売られていますが、魚屋さんがいないため自分で釣りをして新鮮な魚を食べなければならないのですが、頂いてばかりで、まだ自分では釣っていません。また、近所の方々に良くして頂いているので楽しく生活できています。



スキー授業の様子

### ○その他

私はICT機器に弱いので、タイミングよくipadや校務支援システムの活用について多くのことを教えて頂き学んでいることでとても勉強になっています。

また、遠隔で授業を行う、遠隔で研修を行うなど離島でできなかった経験をさせて頂いています。

また、年度初めに生徒交流会を行い、教育相談終了後にも生徒交流会を行うことはどの学校でもあると思いますが、初任者や期限付の若手教員が多いため、生徒指導研修会を開催し、現場での生徒指導について話し合ったり、保護者対応の研修を行ったりしています。私は今まで先輩教師の背中を見て生徒指導を学んできましたが、若手教員が学べる機会が少ないため、生徒指導の研修をすることも新鮮で、開催する私の方が勉強



中高連携英語の授業の様子

ます。  
どこの地域に異動したとしてもその地域を好きになり、その地域で頑張ろうという気持ちをもっていれば、奥尻での経験は間違いなく、自分自身を成長させてくれる人事だと思います。

是非!一度、奥尻で仕事をしませんか、後悔はしませんよ。

平成27年から平成29年までICT実践指定校として旧奥尻中学校が実践を行ってきたことを引き続き新奥尻中学校でも行い、ipadは教師一人一台専用で使用できる状態で、生徒用にも20台使用できる台数があります。手続きをすることで授業や行事で自由に使用できる環境にあります。

授業でも全教職員がipadと教室の書画カメラを常に使用しながら授業を行っています。

若手教職員が多いため、教わりながら私も少しずつ



着衣泳の様子

行事では、食堂作業の保護者が体育館の様子が見られるように調理場にテレビを置き、職員室のテレビ画面にも体育館からの様子が映し出されるなど幅広い使い方をしています。

体育教師としては学校での授業はもちろんですが、春先には奥尻体育協会のお手伝いで小学生に「かけっこ教室」を行ったり、水泳授業では「着衣泳」を行ったり、冬にはスキー授業のお手伝いをしたりと、充実しています。



うにまるくんが奥尻港で出迎えてくれます

冬にはスキー授業でお世話になっている、「スキー愛好会」の方々とスキー教室のお手伝いをしたり、ナイター設備もあるので、冬はスキーを楽しんでいます。指導員や準指導員の方々も数名いらっしゃるの、スキー検定を実施できる環境も良いところだと思います。

冬の生活でも地域とのつながりを大切にしながら楽しんでいます。時々フェリーの欠航により自由に本土へ行くことが出来ませんが、それほど気にせず生活しています。



理科の江差北中学校との遠隔授業の様子



1年生遠足の様子